

令和2事業年度

決算報告書

自：令和2年4月 1日

至：令和3年3月31日

国立大学法人総合研究大学院大学

令和2年度 決算報告書

国立大学法人総合研究大学院大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,753	1,784	31	(注1)
施設整備費補助金	-	-	-	
補助金等収入	5	6	2	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	9	9	-	
自己収入	216	227	11	
授業料、入学料及び検定料収入	213	224	11	(注3)
雑収入	3	3	0	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	53	60	7	(注5)
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	40	31	△9	(注6)
出資金	-	-	-	
計	2,076	2,117	41	
支出				
業務費	2,009	1,845	△164	
教育研究経費	2,009	1,845	△164	(注7)
施設整備費	9	9	-	
補助金等	5	6	2	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	53	62	10	(注9)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
出資金	-	-	-	
計	2,076	1,923	△152	
収入-支出	-	193	193	

(注) 決算報告書の金額については、百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

○予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階で見込んでいなかった令和元年度特殊要因運営費交付金(退職手当分)の繰越(25百万円)、令和元年度基幹運営費交付金(新型コロナウイルス感染症に係る繰越事業分)の繰越(1百万円)、令和2年度補正予算(第1号及び第2号)における授業料等免除の追加配分(5百万円)により、予算金額に比して決算金額が31百万円多額となっております。
- (注2) 予算段階で見込んでいたより令和2年度水産関係民間団体事業補助金が△1百万円少額であった一方、予算段階で見込んでいなかった令和2年度国立大学法人情報機器整備費補助金(第1号及び第2号補正予算)(3百万円)、令和2年度科学技術人材育成費補助金(0百万円)により、決算金額が2百万円多額となっております。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入の差異については、学生数が予算段階の予定数を上回ったことによる授業料収入の増加(9百万円)、入学者数が予算段階の予定数を上回ったことによる入学料収入の増加(2百万円)、出願者数が予算段階の予定数を上回ったことによる検定料収入の増加(0百万円)により、予算金額に比して決算金額が11百万円多額となっております。
- (注4) 雑収入については、予算段階の見込額を上回ったことにより、予算金額に比して決算金額が0百万円多額となっております。
- (注5) 予算段階で見込んでいたより寄附金収入が△2百万円少額であった一方、科学研究費補助金間接経費収入が6百万円、受託研究等収入が3百万円多額であったため、予算金額に比して決算金額が7百万円多額となっております。
- (注6) 目的積立金取崩については、予算金額に比して決算金額が△9百万円少額となっております。
- (注7) 業務費については、経費の節減・効率化等に努めた結果の他、新型コロナウイルス感染症の影響による事業中止等により、予算金額に比して決算金額が△164百万円少額となっております。
- (注8) 予算段階で見込んでいたより令和2年度水産関係民間団体事業補助金の執行が△1百万円少額であった一方、予算段階で見込んでいなかった令和2年度国立大学法人情報機器整備費補助金(第1号及び第2号補正予算)の執行(3百万円)、令和2年度科学技術人材育成費補助金の執行(0百万円)により、決算金額が2百万円多額となっております。
- (注9) (注5)の予算段階の見込より科学研究費補助金間接経費が11百万円増加、寄附金による支出が1百万円増加した一方、受託研究費等による支出が△2百万円少額であったため、予算金額に比して決算金額が10百万円多額となっております。